

地域人材の活用による全県共通課題の推進について

本県の 「学校・家庭・地域の連携・協働」

- コミュニティ・スクールの導入・充実を促進し、「地域とともにある学校づくり」をめざす。
- 教育振興運動（教振）と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進し、「学校を核とした地域づくり」をめざす。

教育振興運動推進プラン（2024～2028）

教育振興運動推進プラン （2024～2028）

全県共通課題

各地域の教育課題、児童生徒の現状に鑑み、全県的な喫緊の教育課題解決に資するため、全県共通課題として掲げ、取組を推進します。

家庭学習の充実

「確かな学力」を支える学校以外の学習環境の充実



体験活動の充実

健やかな成長を支える多様な体験活動の経験



☞ 地域の大人が地域の子どもを育てる

令和6年度第1回岩手県生涯学習
審議会・社会教育委員会議
(令和6年7月18日)

教育振興運動推進プラン（2024～2028）における全県共通課題「家庭学習の充実」と「体験活動の充実」に向けての取組について、

- ・ 実効性を高めるための方策
 - ・ 全県的な取組とするための方策
- の視点から協議・委員からの御意見聴取

令和6年度第2回岩手県生涯学習
審議会・社会教育委員会議
(令和7年1月24日)

今後の取組について、

更に効果的と思われる取組・手法などについて

協議・委員からの御意見聴取

令和7年度第1回岩手県生涯学習審議会・社会教育委員会議
(令和7年7月16日)

全県共通課題の推進において

地域人材を活用する取組・手法などを

協議・委員からの御意見聴取

教育振興運動推進プラン(2024～2028) の推進行程

2024	2025	2026	2027	2028
周知啓発、実態把握、取組奨励				
60周年 記念大会	好事例収集・紹介、実践の共有化			
		実践の充実、改善点の検討・修正		
			実践の評価・まとめ	

岩 手 県 教 育 振 興 計 画 (2024～2028)

教育振興運動推進プラン（2024～2028）の取組状況

2024（令和6年度）の取組

①教育振興運動60周年記念事業を中心とした周知活動



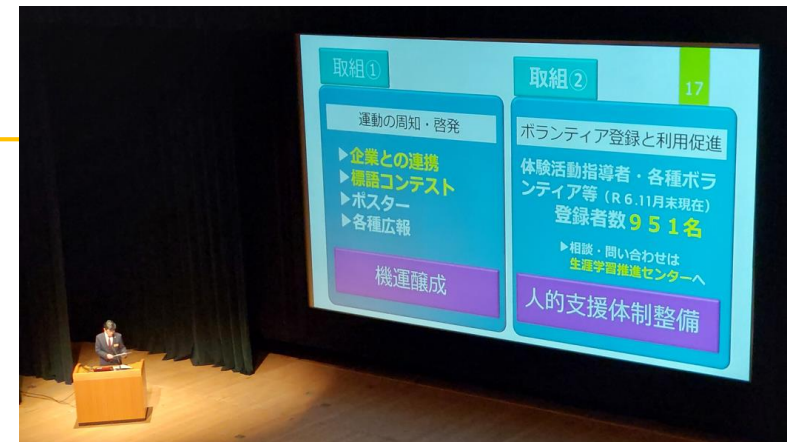
- ポスター作成
- 缶バッチの作成
- 教振標語コンテスト
- 包括連携協定企業との連携による取組の展開



2024（令和6年度）の取組

①市町村担当者等への周知活動

- 各教育事務所管内生涯学習主管課長会議での説明
- 「教育振興運動・地域学校協働活動」市町村担当者研修会での説明
- 60周年記念大会での説明



家庭学習の充実①

協議内容・意見

- NP0や任意団体、地域におけるフリースクール、学童の施設などの横の連携が家庭学習の推進には非常に大事と思っている。教育もぜひそういう母子保健、保健福祉との繋がり、地域でいろんな活動をされている方々と、横の繋がりをもっと深めていくといい。
- 家庭学習を進めるにあたっての基盤は、家庭のコミュニケーションからくるのではないかなと改めて感じたところ。
- 情報メディアの出前講座などを学校でも活用しながら親子で受講し、家庭教育のところで活かしてもらい、そこが家庭学習の充実にもつながる部分と思う。
- 小中学校では中学校区ごとなどで研究会を開いていて、連携がしっかり取れていると思うので、そこを生かして、家庭学習の取り組みせ方を考えれば、児童生徒にとってもやりやすくなるのでは。
- 授業が終わってからの部分、公民館に教員が行く、あるいは、図書館に小学校の授業のビデオを置いて繋がるようにオンデマンドにして見せられるなど、そのような連携ができると、公民館や図書館などを活用することの意味がもっと上がるのでは。
- 実際にボランティアとして活動した時に、何かしらの報償システムを作ると、ボランティアもやってみようという気持ちになる
- 基本的な早寝早起き朝ごはんというものを、本当に強く強く、今の時代の若い夫婦たち、世代に、周知していく必要がある。

家庭学習の充実②

協議内容・意見

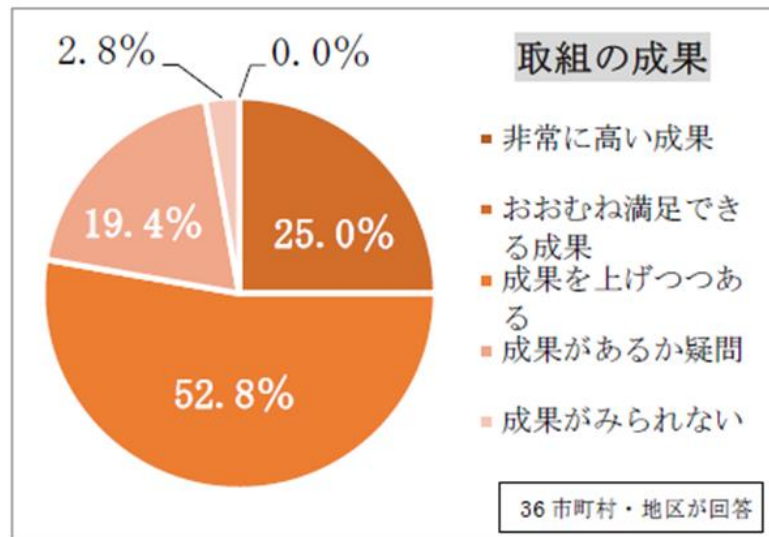
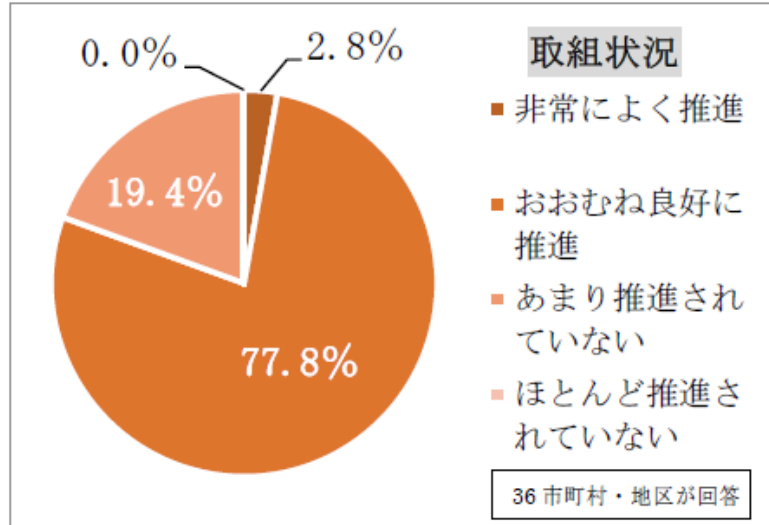
- 親の姿、親の思いがあるから子どもが成長していく、こういう風に頑張っていこうという気持ちになると思う。今の若い親御さんたちも子ども時代に親から育ったと思うので、時代に流されないで、自分がどういうふうに子どもを育てたいかということをしっかりと考えてもらえたら、子どもは幸せになると思う。
- 「自分がしたい学習を家でできるようになればいい」ということに関連するが、例えば携帯のアプリを使った英単語の暗記など、それも学習になると思うので、宿題として認めるなど、もう少し自由な家庭学習になっていけばいい。
- 家まで帰る途中に、公民館などの施設があり、気軽に寄って勉強していこうかなぐらいの、便利なところがあればいいが、遠い場合はなかなか行けないだろうと思う。青少年の家などは、長期休みの時にまとまって合宿のようにしてやるなどしないと簡単にはいけないため、身近なところにそういう解放される施設がなくてはならないだろうなと思う。
- 中学生に関しては、自分の家庭学習のあり方を考える機会が必要と思う。チラシに「このような施設が学習のために開放していますよ」ということが書いてあったり、紹介されたりしているのもいいと思う。

体験活動の充実

協議内容・意見

- やはり子どもは子ども同士で、少し喧嘩してもいい、外で元気よく遊んで、太陽の光を浴びてという姿の経験というものが非常に少ないなと思っているので、とにかく外遊びをしてほしいと思う。
- 体験を家庭でというのは、この自然豊かな岩手だからこそできそうなのだが、やはり機会がないとなかなかできないし、土を触って「泥だ、汚い」という親が多い中で、泥を触る体験などは、第三者が介入するというのは必要かなと思う。
- 冬休みにPTA主催で、親御さんで学校部屋を借りて、冬休みの宿題を親が見るという取組をした。自分たちの子どものために何ができるのかっていう話し合いをしていけば、親ともしっかりと活動できるもの。
- 学力というと目に見えるテストの点数などに着目しがちだが、非認知能力にも着目し、一体的に子どもの育ちを考えていくというのは非常に重要なこと。
- 早い段階、できれば小学校から、放課後の時間を自分どうやってマネジメントしていくか。スマホだけではなくて、時間管理という視点で、子どもたちに少しずつタイムマネジメントの機会を作っていくのは重要と思った。
- みんなでリラックスした雰囲気、本や勉強道具を広げながら、気軽に子ども同士の学び合いができる場所、そこで社会教育施設が力を発揮するのでは。

家庭学習の充実

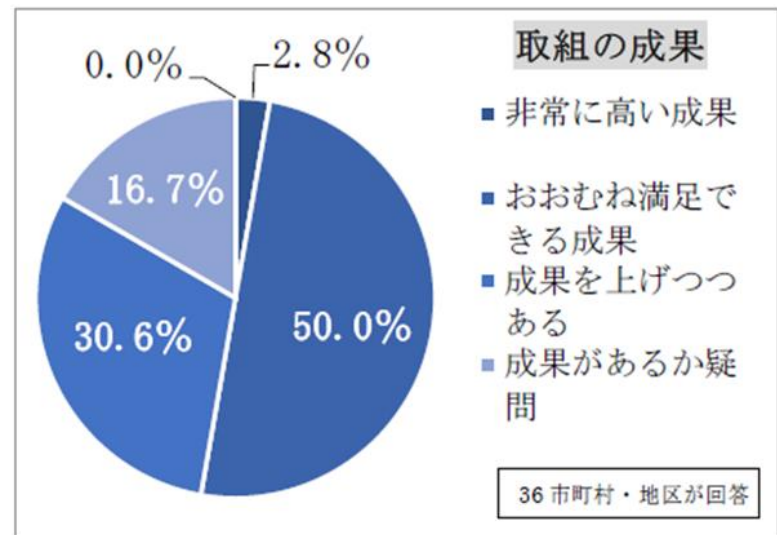
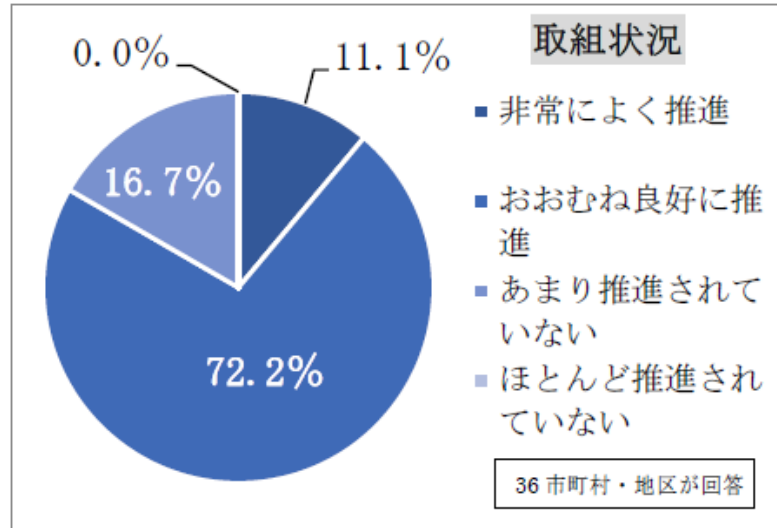


・「家庭学習の充実」に関する取組について、市町村等の約8割が取組状況を肯定的に捉えているが、その成果を確認している市町村等は2.5割にとどまる。

【主な取組成果】

- ・学校の学力向上の取組と連携した取組は18市町村・地区、学習スペースを確保しての取組は4市町村・地区で行われている。
- ・市教育委員会の学力向上の取組と合わせて市内全小・中学校で「家庭学習の充実」に関する取組を実施。
- ・家庭学習の習慣化について、何をどのように進めることが学力向上につながるか会議の場で協議している。共通理解のもとに家庭学習の手引きを作成・配布し、継続的に取り組ませている。
- ・放課後子ども教室において地域住民（学校支援ボランティア）の支援による学習支援を実施しているほか、社会教育施設に学校外の学習スペースを確保することで、地域が子どもを育む意識の高揚と学習意欲の向上に資する環境の整備に取り組んだ。

体験活動の充実



- ・新プランの全県共通課題である「体験活動の充実」に関する取組について、市町村等の約8割が取組状況を肯定的に捉えており、約5割が取組による成果を確認。

【主な取組成果】

- ・教育振興運動の柱の一つに「体験活動の参加促進」を位置付け各学校区において特色ある実践がなされており、各地区別集会において、その取組の成果を発表したり、年度末に実践事例集を作成し、その取組について情報共有を行ったりしている。
- ・公民館事業や放課後子ども教室等による体験活動の機会を一体的に確保している。
- ・各地域での伝統芸能の継承、世代間交流による昔遊びの体験などに取り組んでいる。
- ・地域協働学校支援員と連携し、地域の活動に積極的に参加し、児童が多く地域のの方々を触れ合う機会を増えている。

教育振興運動推進プラン(2024～2028) の推進行程

2024

2025

2026

2027

2028

周知啓発、実態把握、取組奨励

好事例収集・紹介、実践の共有化

60周年
記念大会

■ 推進プランの周知啓発、実態把握、取組奨励

- ☞ 生涯学習推進センター、教育事務所による研修会
- ☞ まなびネットいわてによる「体験活動ボランティア」の周知

■ 好事例収集と紹介、実践の共有化

- ☞ 全県共通課題実践事例集

岩 手 県

「まなびネットいわて」に特設ページを新設



学 習

体 験

市町村の社会教育委員に関するアンケート調査 結果

<<社会教育委員の構成>> ※令和7年4月末日現在

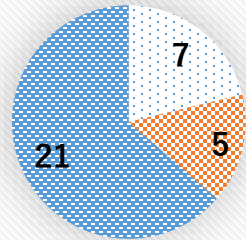
	総数	公民館審議会	図書館協議会	博物館等協議会	学校運営協議会	自治会長	学校長	NPO団体	教育振興運動	地域学校協働活動推進員
盛岡市	20	0	0	0	0	1	2	0	0	0
八幡平市	12	0	0	0	0	0	1	0	0	0
滝沢市	13	0	0	0	5	2	1	0	3	0
雫石町	10	0	0	0	3	0	2	0	0	0
葛巻町	12	12	0	0	0	0	2	0	0	0
岩手町	10	10	0	0	0	0	1	0	0	0
紫波町	14	0	0	1	6	0	3	0	0	0
矢巾町	14	14	0	0	1	0	2	0	8	0
花巻市	20	0	3	3	3	1	2	0	1	1
遠野市	23	23	23	23	0	2	1	0	0	0
北上市	19	0	0	0	0	0	2	1	10	0
西和賀町	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0
奥州市	18	0	0	0	0	0	2	0	4	0
金ケ崎町	14	0	0	0		1	1	0	0	0
一関市	20	0	1	0	0	0	3	0	0	0
平泉町	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0
大船渡市	14	1	0	0	2	0	2	0	2	0

	総数	公民館審議会	図書館協議会	博物館等協議会	学校運営協議会	自治会長	学校長	NPO団体	教育振興運動	地域学校協働活動推進員
陸前高田市	12	12	0	0	0	0	2	0	0	0
住田町	10	10	0	0	1	1	3	0	0	0
釜石市	12	2	0	0	4	0	3	0	1	0
大槌町	11	10	2	0	2	0	2	0	0	0
宮古市	13	0	1	1	2	0	3	0	0	0
山田町	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0
岩泉町	12	12	2	0	4	0	3	0	0	0
田野畑村	10	0	0	0	1	1	1	0	1	0
久慈市	18	1	0	0	4	1	3	2	1	0
洋野町	15	0	1	0	0	0	3	0	0	0
野田村	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0
普代村	6	0	0	0	0	0	2	0	3	0
二戸市	13	0	0	0	3	0	2	0	5	0
軽米町	13	0	0	0	0	1	2	0	1	0
九戸村	15	0	0	0	4	1	3	0	6	0
一戸町	13	3	0	0	0	1	2	0	5	5
合計	445	110	33	28	45	13	65	3	51	6

市町村の社会教育委員に関するアンケート調査 結果

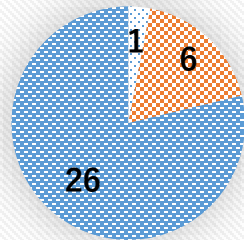
<<社会教育委員の構成>> ※令和7年4月末日現在

公民館審議会



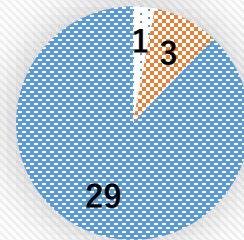
● 全員 ● 一部 ■ なし

図書館協議会



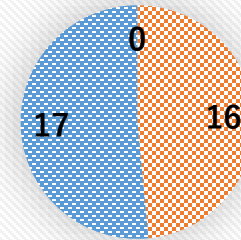
● 全員 ● 一部 ■ なし

博物館等協議会



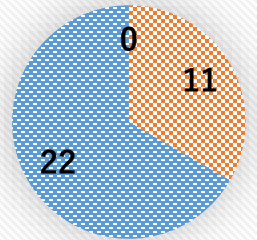
● 全員 ● 一部 ■ なし

学校運営協議会



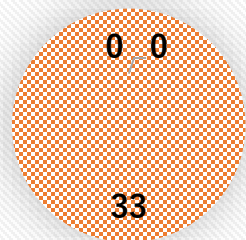
● 全員 ● 一部 ■ なし

自治会長



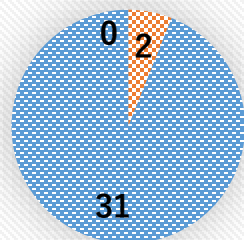
● 全員 ● 一部 ■ なし

学校長



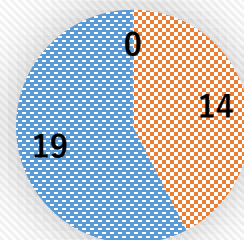
● 全員 ● 一部 ■ なし

NPO団体



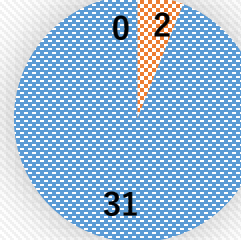
● 全員 ● 一部 ■ なし

教育振興運動



● 全員 ● 一部 ■ なし

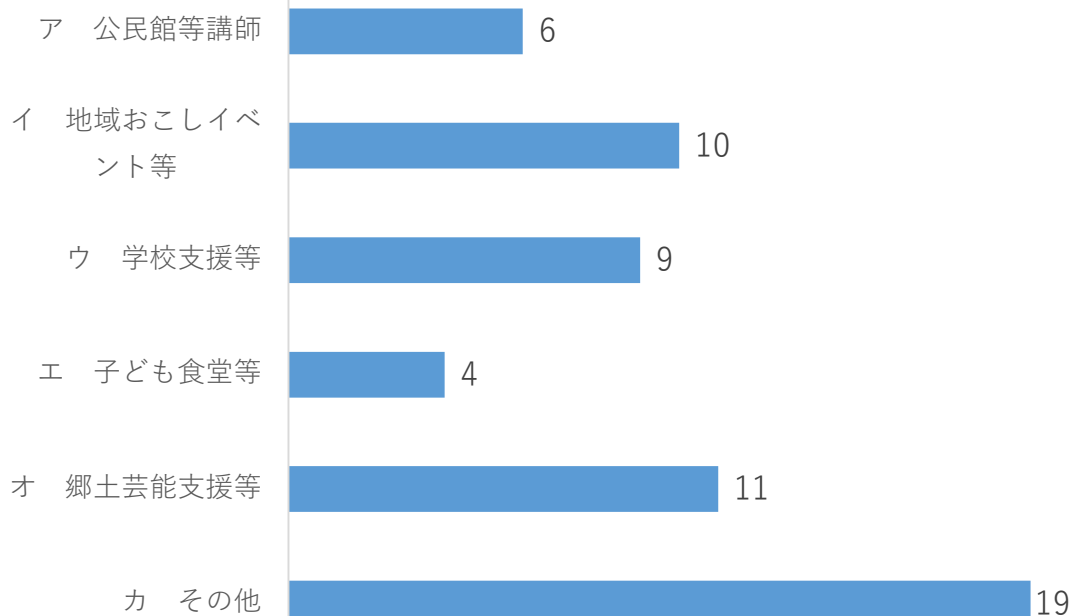
地域学校協働活動推進員



● 全員 ● 一部 ■ なし

市町村の社会教育委員に関するアンケート調査 結果

<<社会教育委員の主な活動（所属団体の活動含む）>> ※令和6年度実績



<その他>

- ・町の社会教育方針や運営に対し、必要事項を審議したり助言を行う。(12市町村)
- ・子供会活動支援、芸術文化活動、町指定文化材の保存
- ・芸術文化協会、芸能保存会、文化財調査委員、スポーツ協会、婦人会等の団体に所属
- ・家庭教育の推進、ユネスコ活動、青少年健全育成、地域社会の振興に関すること
- ・各所属団体としての活動が主となっている
- ・把握していない、分からない(3市町村)

八幡平市	・地域協議会の会員が構成員となっており、地域のイベントに参画している。 ・郷土芸能保存団体の会長が構成員となっており、郷土芸能の伝承活動を行っている。	一関市	・市民センターで、市民を対象とした講座や講演会の実施 ・PTA行事や自治会行事等で、ニュースポーツや健康体操、体力測定の指導 ・芸術点や文化祭の開催
滝沢市	・課題解決セミナーやリカレント教育推進セミナー、地域における学びの場における講師など ・自治会や関係団体（社会教育・文化芸術・スポーツ・青少年対策など）活動への参画活躍 ・地域学校協働活動への参画活躍	宮古市	【こども食堂】 ・宮古市の委託を受け、宮古市社会福祉協議会が運営。 ・調理や盛り付け、配布は、地区の民生・児童委員や住民有志、地域の各種団体が協力している。
雫石町	毎年芸術祭開催している。 （雫石町芸術文化協会の役員より委員を推薦して頂いている。）	山田町	・高齢者を対象としたパソコン操作を学ぶ機会の創出活動。 ・小学生・保育園生を対象とした絵本の読み聞かせ活動。
岩手町	社会教育関係者として、それぞれが所属している団体において、郷土芸能の伝承等を行っている。	岩泉町	中学校における和太鼓指導イベント参加
花巻市	・社会教育に関連する地域おこしや世代間交流イベントへの参画、郷土芸能の伝承支援、学校教育への支援などを行う団体から委員を推薦いただいている。 ・自ら生涯学習講師への登録し、サークル活動や研修講座の講師として活動している委員もいる。	田野畑村	漁業体験、伝承支援するとともに、公演の機会へとつなげている
遠野市	各地区センターを拠点とした地域づくり活動やイベントの開催	久慈市	市民団体や各地区のボランティアとして、市民センター事業や学校での学習プログラムに参加。
北上市	【発明クラブ】 工作や実験、観察などを通して、子どもたちの豊かな発想を伸ばす活動の実施	軽米町	・総合的学習での文化団体活動の講師 ・文化団体活動講座の講師 ・地区学習会等での講師

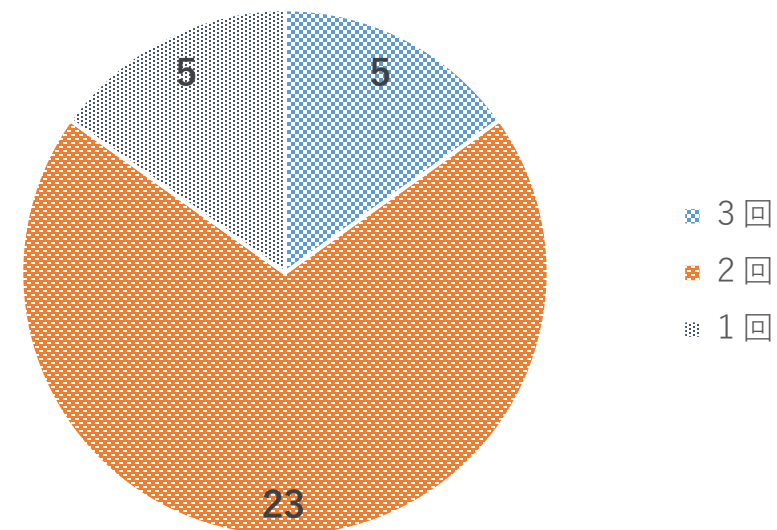
市町村の社会教育委員に関するアンケート調査 結果

<<社会教育委員会議の状況>> ※令和6年度実績

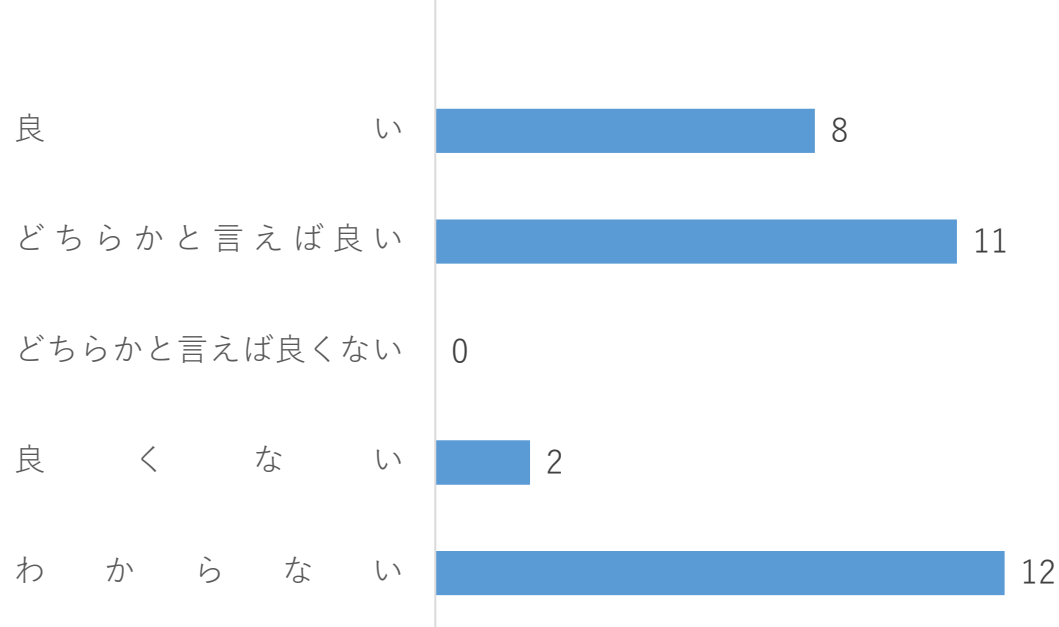
【会議の形態】



【会議の回数】



<<社会教育委員と地域住民の連携や協働の状況>>



- <わからない理由>
- ・社会教育委員としての立場で、連携や協働は行っていないため。3市町村
 - ・各委員が個別に活動していることは承知しているが、町が仲介をする事業、個人と取組の調査を行っていないため、実態を把握していない。
 - ・連携や協働の実態はあると思われるがそれを把握する機会等がない。
 - ・地域住民との連携・協働が必要となる自主事業を実施していないため
 - ・社会教育委員としての活動実績がないため（各団体で連携協働しているため）
 - ・無記入5市町村

「良い」理由	
八幡平市	・地域協議会、婦人団体、PTA団体等が構成員であり、地域住民との連携は図られている。
滝沢市	・学識経験者（大学教授）を委嘱しており、課題解決セミナーやリカレント教育推進セミナー、地域における学びの場における講師などを務めている。 ・自治会や関係団体（社会教育・文化芸術・スポーツ・青少年対策など）活動、地域学校協働活動への参画活躍を通じた学びによる「人・つながり・地域づくり」の推進に日々尽力している。
紫波町	・芸術文化協会、芸能保存会、文化財調査委員、スポーツ協会、スポーツ推進員、学校長など、組織で地域住民と連携をしている。
北上市	・各委員の所属している団体活動を通じて、地域住民と連携した事業の実施ができています。
一関市	委員の所属団体において、地域と連携・協働しながら、地域の教育やまちづくりを推進している。
宮古市	社会教育委員が所属する団体の活動の中で、 ・「こども食堂」では、地域の民生・児童委員や住民有志、地域団体との連携・協働が根付いているため。 ・「サークル活動・研修講座の講師」においては、宮古吹奏楽団等の複数の団体を主宰しながら、地域の様々なイベント等にも協力しているため。
山田町	社会教育委員となっている方々の所属する団体について、様々な分野において町内で活躍しており、住民とのつながりという点においてそれぞれがその役割を果たしていると認識している。
田野畑村	各々団体の会長や一員等として良好に活動している。